

真の掛物



文化財 震災と文化財

石巻市文化財保護委員 千葉昌子

行の掛物



東日本大震災は、たくさんの命と財産を奪い、幸いにして生き残った人々の活力までも消しかねない恐ろしさでした。市内沿岸部は津波に呑まれ、内陸部は震度六・七の激震。三分程の揺れで、何百年分の生活を根こそぎ失ってしまいました。桃生地区は旧北上川の自然堤防上に形成された新しい地層で、揺れが特に激しい土地です。今回も全半壊が、地区によって七・八割もあり、町の様相が変わる程です。

貴重な文化財も一瞬にして破壊されました。混乱

の中で文化財どころではなかつたのです。加えて世は「断捨離(ものへの執着を取り去って捨てること)」が流行。すべてゴミにした家もあったようです。訪問すると「こんなものがあるけど…」と、古い物を残して下さっていた方もありました。有難い事です。その中で、今回は掛軸三幅を紹介いたします。桃生町牛田の西條家(現当主 美代子氏)は、かつて礼法の指南家で、冠婚葬祭等のしきたり一切を近隣に教えていたそうです。三幅のうち二幅は「結納の真・行の飾付」(一幅は樽酒、鯛、スルメ、昆布等の品々が描かれ、見ているだけで豊かな気分になる図柄です。被災後に東北大学平川教授門下の先生方が、同家の古文書類一切とともに救ってくださいました。美しい画を見るのも心の養分と思い、選んでみました。

情報プラザ《メディアシップ》でオリジナルうちわを作ろう!

メディアシップ2階ワークキャビン(1~5ブース)では、パソコンを使ってさまざまなものを作成できます。オリジナルのうちわを作成してみたい方に専属スタッフが操作方法等を補助します! 楽しい夏を満喫するのにちょっとしたプラスアルファになること間違いなし!

とき 7月22日(日)~31日(火)(月曜日を除く)
 午前コース 午前10時~ 午後コース 午後2時~ ※各2時間程度
 定員 1日4組(先着) (1組3人まで)
 内容 パソコンを使用したオリジナルうちわ作成イベント
 ※詳しい内容については、お問い合わせください。
 受講料 500円(うちわ1枚含む。追加で作成の場合は1枚につき500円負担になります)
 申込方法 7月6日(金)午前9時から電話にて受け付けします。
 その他 デジカメ等の写真データは持込み可とします。
 ただし、アイドルの写真やキャラクターのイラストは、著作権、肖像権の関係上、使用できませんので、ご注意ください。
 問 情報プラザ《メディアシップ》 ☎61-1200 (午前9時~午後5時)

リサ・ヴォート写真展「White Gife in ISHINOMAKI ~みんな・ひとつになって 北極星に願いを~」開催

アメリカの写真家リサ・ヴォート撮影による、北極の氷原にたくましく生きるホッキョクグマの写真と実物大のフィギアの展示・メッセージコーナー・シロクマカフェ等
 とき 7月7日(土) 午後1時~5時 7月8日(日) 午前9時~午後4時
 ところ 石巻中央公民館大ホール
 問 石巻中央公民館 ☎22-2970

みんなのた場



華の会のみなさん

サークル仲間 62

知恵合わせて つるしびな制作

ともに笑顔で前目指す 「華の会」

桜、手まり、金魚、とうがらし、うさぎ、猿ぼぼ…。色彩やかな「つるしびな」は、被災した女性たちが一針一針、縫い上げたもの。制作しているのは、追波川河川運動公園多目的グラウンドの仮設住宅に暮らす「華の会」(永沼むつ子代表)の皆さん。メンバー15人は、全員が震災で壊滅的な被害を受けた雄勝地区の出身者です。震災で悲しみを背負



▲色彩やかなつるしびな

いながらも、ともに支え合い、明るい笑顔で前を目指しています。

会の立ち上げは今年4月。メンバーの一人で、趣味で、つるしびなを作り続けてきた永沼信子さんが、作り方やデザインをアドバイスしています。経験の少なさは、みんなの力でカバー。それぞれが知恵を出し合うことで、実力以上の作品に仕上がるそうです。

仮設住宅で暮らすようになってから初めて知り合った人も多く、少しずつ親交を深めてきました。いまでは、一人ひとりがかけがえのない仲間となり、「何十年も前からの付き合いのよう」と話す人もいます。活動場所の集会場には、にぎやかな笑い声が絶えません。

「お地藏様やお雛様、シジミの貝殻を使った、無事帰るのカエルストラップ等、色々なものにチャレンジしていきたいです」と、意欲を語っていました。

おわびと訂正
 市報6月1日号9ページ、みんなの広場「サークル仲間」に次の誤りがありましたので、おわびして訂正します。
 2段1行目 誤)高橋栄子さん 正)高橋英子さん

まちの話題

石巻地区

立町に子どもセンター建設へ



5月27日(日) 石巻グランドホテル

国際子ども支援団体(NGO)のセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは石巻グランドホテルで、子どもまちづくりクラブの地域報告会を開きました。同クラブは、被災3市町の子どもたちの声を受け、地元の小学生から高校生で発足しました。報告会では、子どもの視点で、地域の交流拠点となる立町に建設する「子どもセンター」の外観デザインを発表しました。平成25年度の完成を目指し、市と一緒に進めています。

心静かに一服味わう



5月26日(土) 日和山公園

茶道表千家石巻教授者会の「つつじ祭り茶会」が、日和山公園で開かれました。雲一つない青空の下で、多くの方々が心静かに一服を味わいました。ツツジが見ごろを迎えるこの時期に毎年開いており、今年で22回目。教授者会のメンバー約20人が茶と菓子で来園者をもてなしました。茶道を学ぶ市内の小学生3人も和服姿でお点前を披露しました。昨年の茶会は震災直後でしたが、皆さんにひと時でも安らいでもらおうと和服を着ない等簡略化して実施しました。